

はかれるようになって来た。又かつては食料等も豊富で、自分の物は他人の物、他人の物は自分の物と言うように誠におおらかであつたのが、人口の増と共に様相が變つて来た。今日では物は一旦市場に集めてさばかれるようになり、従つて貨幣価値も生まれて来るようになって来たのである。

最近のタヒチではホテルが方々に建ち、「南海の樂園」として美しい南海の孤島と素朴な島の人情にひかれて、ハワイではあき足らなくなつた観光客が年間5万人も訪れると言う。ロケ隊も来るようになって来た。かくてタヒチは好むと好まざるとにかかわらず、観光の島としての道をたどらざるを得なくなつてゐる。立派な空港も完成し、空路からも続々と客がやつて来る。然しながら、ポリネシアの中心であるタヒチが、ポリネシアの純粋性を失いつつあることは誠に残念である。

出席報告

1. 本日の状況 会員数34名 出席29名 欠席5名
2. 前回の確定出席率 97.06% (会員数34名 当日出席25名
メークアップ8名 出席合計33名)
3. 他クラブの状況 函館89.09% 函館東94.67%

○ 七重浜慰霊碑植樹祭出勤御苦労様でした。

新 遠藤 成田 市川 船矢 森 山内 水上 (以上8名敬称略)

○ 才17回才1分区インターンティ・セネラル・フォーラム

日時 昭和42年5月7日 11~17時30分

会場 茅部郡森町 御幸町 森産業会館

出席者 北クラブより 飯田会長 遠藤前会長 市川幹事 青柳君

俣野君 深瀬君 伊達君 下郡山君 高杉君 山形君 水上君

岡田ガバナー、伊部バスターガバナー、渡辺才1分区代理、才1分区会員100余名出席のもとに、ロータリーの奉仕各部門にわたり延々6時間、活発にフリートークキングがなされました。始めの雰囲気は処女の如く、リーダー各位は内心どうしたものかと察しておられたようですが、中盤以降はどうしてどうして、非常な盛り上がりを見せて脱兎の如く、ガバナー、バスターガバナーに激しく食ひ下がり、ガバナーをして350地区内で一・二を争う成果をあげたと言わしめた程でした。6時間の内容については詳記し得ませんが、追い追ひ関係の方々から御披露されると思います。なお18時から2時間半にわたり懇親会が催されましたが、森でとれた新鮮なエビとカニの山盛りは大変美味しく、クラブ対抗かくし芸大会も非常に楽しいものでした。太柔先生の落語などは名人芸で、今後はめつたにお聞き出来ないのでしよう。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才165号

1966~1967-5-24

函館北ロータリークラブ

第149回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話 クセメント雑話 谷口 勇君

- 司会 飯田会長 斉 唱 奉仕の理想
- ゲスト 折原久左エ門氏 (北海道教育大学函館分校助教授)
- ビジター 志村誠一君他11名 (函館) 尾形十一君他6名 (函館東)
- 幹事報告

1. 「ガバナー月信」5月号が参りました。

1) 小畑ガバナー・ノミニーは、レクブランソッドに於ける国際協議会を無事終了され、ただいまフランスのニースに廻られております。5月21日から始まる世界大会に出席し、ここで当地区から出席された嵯峨バスターガバナーをはじめ、3・4名のロータリアンと逢い、わが地区から提出した世界社会奉仕の35ミリカラースライドをごらんになつていただけるものと思います。なお小畑氏は、5月31日羽田着、6月2日函館にお帰りになる予定です。

2) 当クラブの4月の平均出席率は94.05%、地区才25位で、遂に函館の先輩クラブを追い抜きました。

31位 函館 92.87% 32位 函館東 92.62%

2. 俣野会員より会長さん宛にベルリンから絵葉書が参りました。

卓話 クデザイン概念 折原久左エ門氏

折原氏略歴 昭和6年生 東京教育大学出身 日展入選9回 日本全工作家協会会員 全道展会員、審査員 現北海道教育大学函館分校工芸デザイン担当 ぶたん我々専門家でも問題としているのはク概念です。哲学的に考えると難しいが、一般的にク智識又はク認識というふうに考えてよいでしょう。

又クデザインは日本語のク計画に当ります。そしてデザインが使われるのは、ポスターや看板のように目の感覚に訴える場合(ビジュアルデザイン)と、建築、自動車、飛行機、衣服等物理的要素(耐久性と美しさ)を多分に必要とする場合(プロダクトデザイン)とがあります。なおデザインは社会性、経済性、技術性の三つが検討されて出来上るもので、それ等一切を含めて終局

的にある一つの形を決めるのが我々の持つている「概念」なのです。

一般に常識があると言われていた人間はたえず何かにおびやかされています。一つのあたりまえの行動をおこしても、反省心のある人ほど自分のやつたことを無理に正当化しようと苦しみます。それを説明したのは心理学者のフェスティンガーで、「認知不調和」と言います。私はそれをデザイン教育の中にあてはめてみようと考えました。

デザインをやることは「創造」をやることです。それは真似をしない、現在あるものとは違つたものを考えることです。そのためには「概念」を打破しなければなりません。

「概念」とは如何にして形成されるのでしょうか。生れたての赤ん坊には概念は全くありません。赤ん坊は先ず母親を通じ、家庭を通じて少しづつおぼえてゆき、長するに及び社会を通じて色々なことをおぼえます。従つて経験の多い者又は年とつた者ほど概念の世界が大きくなります。

概念は元来宗教的な儀式によつてつくられたものです。生命を守るために祈りが行なわれ、成功したものは続けられ、何人かがやつて広まり、失敗したものはやらなくなり又は禁止される。それが習慣化する。それにより我々の衣服持物等が制約をうけるようになる。そのようなことは日常沢山あります。

何れにせよ一つの概念(習慣)が大きくなるためには、何人かの概念が集まり、それが共同の概念となることが必要です。その過程では融合又は吸収が行なわれなければなりません。又革命であることもあります。つの場合強い者が弱い者を征服することになります。かくして多くの人々の概念が集まり、一つの世界が出来、そして段々大きくなり飽和してゆきます。

デザインの世界では概念は変らなければなりません。変ることによつてデザインが成り立つのです。衣服、住居、生活様式等も変つて来ました。我々デザインをやる者は、ある時には期待しながら、又ある時は積極的に変えさせようと努力します。然し当分無秩序的な傾向が続くのではないのでしょうか。

出席報告

- | | | | |
|-------------|----------|--------------------------------------|------|
| 1. 本日の状況 | 会員数34名 | 出席25名 | 欠席9名 |
| 2. 前回の確定出席率 | 100% | (会員数34名 当日出席29名
メークアップ5名 出席合計34名) | |
| 3. 他クラブの状況 | 函館90.00% | 函館東86.67% | |

次回(6月7日)のプログラム

会員卓話 「北洋雑話」 杉本隆治君



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第150回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話 「北洋雑話」 杉本敏雄君

- 司会 飯田会長 斉唱 我等の生業
- ゲスト 木下賤雄君(飯田会長の)
- ピジター 宮崎正雄君他12名(函館) 北野治君他5名(函館東)
- 幹事報告

1. 小畑ガバナー・ノミネーよりバリーからのお葉書が参りましたので回覧します。6月4日10時45分に函館空港に到着されますので、御都合のつく方はお出迎え下さるようお願いいたします。
2. 今週のウィークリーで、次回のプログラムの卓話が「杉本隆治君」となっているのは「杉本敏雄君」の誤りですので訂正致します。
3. 親睦委員会主催で、東クラブと北クラブのゴルフ大会が行なわれます。6月3日午後2時スタート 場所は「湯の川」 会費1,000円
4. 滝上仮R.C. 6月11日創立総会が行なわれます。

- 会員卓話 「セメント雑話」 谷口 勇君

1. セメントについて
ポルトランドセメント 普通、早強、中庸熱の三種があり、クリンカー(石灰質原料及び粘土質原料を混ぜその一部が溶融するまで焼成して得る)にセッコウを加え、粉碎してつくる。JIS製品となつている。
混合セメント 高炉、シリカ、フライアッシュの三種があり、それぞれにA、B、Cの三種がある。又お好みにより如何にもつくり得る。
2. セメントの起源

世界最古の磨壚と云われるシブラス島の寺院の礎石の間に石灰モルタルが使用されている。エジプト、ローマ時代に進歩したが、中世紀の暗黒時代には見るべきものはなかつた。1824年にイギリスの煉瓦工ジョセフ・アズプチンが石灰石と粘土の混合物をやや高温に焼成し、之を粉碎して煉つたところ、偶然天然の石の様に固結することを発見し特許を得た。その色がポルトランド産の石材に似ているのでポルトランドセメントと命名した。